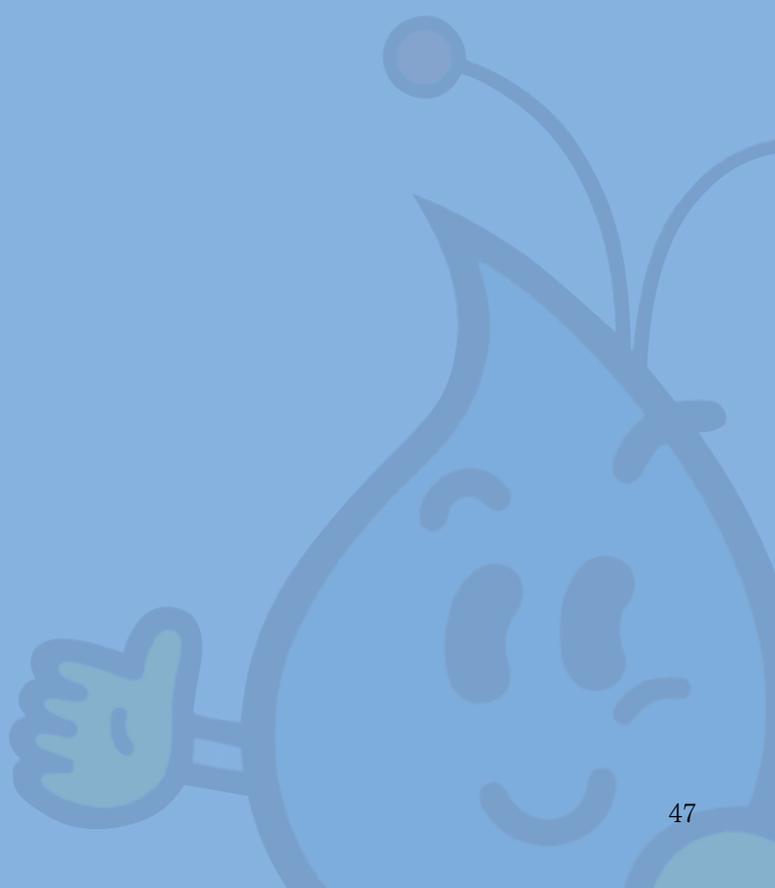




円滑な事業運営に向けて
～市民参画の推進～



市民参画の推進 … 施策を展開する上での2つの視点

下水道事業は、多くの市民の皆さまに利用されている生活に密着している事業です。今後も引き続き利用者である市民の皆さまの信頼に応え、円滑に安定した事業運営を進めていくためには、皆さまのご理解とご協力が必要となります。

札幌市下水道ビジョンの実現に向け、各施策を展開する上で市民参画の推進を意識し、「情報共有」と「市民参加」の視点から、広報や広聴活動の充実に努めてまいります。

視点1 「情報共有」による市民理解の促進

背景

下水道は、市民生活を根底から支える社会基盤施設である反面、その大部分が地下にあるため、普段は人目に触れず、あまり意識されることがありません。今後は、より一層、下水道のしくみや役割、事業の効果などについて、広く情報発信を行っていく必要があります。

取組内容

- 水再生プラザの見学により、実際に下水がきれいになる過程を観察しながら、下水道を身近な存在として体感してもらう機会を提供します。
- 下水道科学館により、普段は目に見えない下水道の仕組全般を「安全に」「楽しみながら」「体験できる場」を提供し、次世代を担う子どもたちの環境教育に取組みます。
- 下水道事業に関する理解を深めていただくため、広報誌やホームページなどを活用してわかりやすい情報発信を行います。

水再生プラザの市民見学会



下水道科学館による環境教育



ホームページによる情報発信



～「クリンちゃん」と札幌市下水道科学館のキャラクターたち～



視点2 「市民参加」による施策内容の充実

背景

厳しい財政状況のもと、限られた財源の中で事業の優先順位を定め、効果的に事業を行っていくためには、利用者である市民の皆さまのご意見に耳を傾け、事業運営に反映させる取組が必要となります。

取組内容

- **下水道モニター制度***を活用し、「市民への情報提供」「市民参加」を進め、事業の効率的・効果的な運営に反映します。
- **出前講座***により、下水道事業への理解を深めていただくとともに、市民の皆さまの「生の声」を事務・事業の見直しに役立てます。
- **ワークショップ***や意見交換会の開催、**パブリックコメント***やアンケートの活用により、市民の皆さまの意見を事業に反映させる取組を進めます。

下水道モニター制度



パンフレット作成ワークショップ



下水道科学館フェスタ(広報イベント)



水再生プラザの上部利用



